―休憩―

△ 祝辭　大日本無産同盟、東京青年同盟、芝浦労働組合、日本労働組合聯盟、自治會、東京從業員組合、

△ 祝電　金日本水平社、無産青年同盟、政治研究會、函館合同労働組合、日本海員組合、仙台印刷労働組合、金日本鉄道從業員組合、

△ 議長挨拶（大要）

―創立大會の際は兎角、今日大會の議長は他に適任の筈ざられることを信じてゐたに拘らず固じこの栄職を與へられたることを光栄に感ずる、創立以来評議會を取巻く周囲の一般状勢は我等に不利であつた。「被除名者」と云ふ名称は「悪」の代名詞たるかの感を與へて人の不足、金の不足に災され、機関紙の発行能力さへ絶はれた程であつたが、組合員諸君の協力一致に依つて漸く切り抜けて今日の発展を見た。当時自分は「憂きことの尚この上に積れかし限りある身の力試さん」の歌詞を口ずさんでは凡てから

の攻撃を堪え忍んで来た。

評議會は我国体を破壊する暴力団であるから在郷軍人と協力して撲滅する必要がある等と中傷する者もあつた。

自分としては評議會に対する逆宣傳の一部は敢て承認するものである。即ち我組合員中には共産党の名を冠せられることを恐れる者があります。―若し他の組合の諸君で除名されるやうな場合があつたら評議會はその人々を喜んで近へ入れる。労働組合の本質は思想的。一致ではない、労働組合は思想団体ではふく日常生活を向上すべき、闘争団体であつて、其の中に複雑な思想を包含することは当然であつて同時にそれ等を統一して一定の軌道を進むことがその本質であり又特色である。―例へば流車を付けて言へば機関車があつて列車がついて行く"夫れを機関車が石炭を燃したり湯を沸したりすることは急進的であるとして鎖を切れば列車は其の侯鉄道の上で腐るより仕方ない。併しながら急進的な所謂共産党の様な機関車があつて、固く縛りつけて相互が握手して行けば流車は目的地に到着するのである、労働組合の中にそうゆふ人の居ることは私は慶賀すべく又誇るべきことであると信ずる"

吾評議会が外部の人が非難攻撃するが如きことを実際に行動の上に現はしたならば今日の発展は見られず第二回大會を開催することは不可能であつたらう―自分等從来の忍苦は最大限度のものであつた、政党問題に対する忍耐も同様であつて労働農民党は從来吾々に門戸を閉塞して来た。それを吾々は忍んで来た。けれども近く門戸を解放するやう制限の撤廃を絶叫する決心である。"労農組合代表レ"七氏一行勧誘問題については乗縁上に不備の点があつたため非難を生んだが兎に角国際運動の第一歩に評議會が踏み出し得たことを語るものである。

又函内国体の総聯合問題に対しても努力した。各地方協議會地方組合会議の域を出に努力し更に全国的総聯合の一過程として函館労働代表選出協議会の成立を見た（中略）又世間には理屈はまく言ふがストライキ一つも出来ないと非難するものが世間並のストライキの十や二十はやつて来て居る……。斯して茲に第二回の大會を迎へた。過去一ケ年間経験苦しみの内から漸く落付を見